

認知グループ 4 平成27年度 第 5回 職事録
【年間テーマ 抑制の現状と対応】

平成 27年 12月 15日 提出

日付	平成27年12月12日(土)			
場所	天神 福岡ビル9階		記録者名:永吉 洋恵	
出席者 (敬称略)	新吉塚病院 冢入 貴裕	広瀬病院 江濱 有子	丸山病院 北村 恵美子	古森病院 稲村 弘子
	東福岡和人会病院 荒木 里子	津屋崎中央病院 大森 裕樹	津屋崎中央病院 石井 喜一郎	若杉病院 横瀬 侑子
	泰平病院 永吉 洋恵			
テーマ	抑制を外すための方法			
結論	<p>テーマを‘抑制を外せる見守り方とは’から‘抑制を外すための方法’に変更 ○患者さんの見守る体制を整える ・見守りやすい場所で過ごしていただく ・家族が来られている時は家族に見守りをさせていただく ○患者さんに声かけをし、危険な物は周りには置かない ○経管栄養者注入時のみミトン使用し、モニタリングして1週間に1回カンファレンスを行ないミトンを外すように取り組んだ(モニタリングは期間を決めて行う) ・ミトンのかわりに枕を抱いてもらう ○不安からの体動が激しい患者さんには、集中出来る事を探し集団リハビリに参加してもらうようにした ○見守ることで監視されていると感じられる患者さんには付き添うのではなくフリーにする ○集団レクリエーションをし4本柵を使用されている患者さんの日中の離床を促してみた ○Y字ベルトの患者さんは離床時間が長くなる事があるので日中2時間は臥床し、頻回に訪室する ○なぜ抑制が必要か考えた結果、夕方に不穏になることが多かったためスタッフが付き添うことにした→付き添うことで不穏がなくなった ○センサーマットを付けるのは簡単だが外すのは大変ということを理解し、使用対象者を考える事が必要ではないか</p>			
決定事項	①発表時のキーワードを考える ②模造紙の書き方を考える			
備考	司会:丸山病院 北村恵美子 書記:泰平病院 永吉 洋恵			
次回討論項目	模造紙作成(15分) 発表(15分)			